

重量物を張り付けてもズレにくい グレー ホワイト

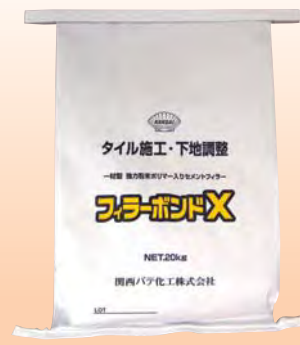
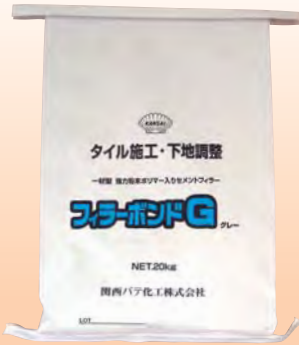
# フィラーボンドG・W

エチレン酢ビ系粉末樹脂配合

優れた作業性と、スムーズな硬化 エックス

# フィラーボンドX

アクリル系粉末樹脂配合



## 用途

- ◆コンクリート、モルタル、ALCなどの下地調整
- ◆タイルやタイル厚石材などの接着
- ◆各種下地面の下地処理  
(FRP防水、P-タイル、アスファルト防水面などはE-プライマーを塗布してください。)
- ◆古壁を改装する時の下地処理

## 練り方

- 練り容器に水とフィラーボンドを入れて、攪拌機で練ってください。
- 練り玉を作らないように、隅々までよく攪拌してください。
- 練り上がったものは、2時間以内に使用してください。

## 適用下地

- 新設下地  
モルタル、コンクリート、ALC、合板(水の影響を受けない箇所)など。
- 改装下地  
吹付けリシン、吹付けタイル、水性塗料、タイル、石材など。  
※弱っている下地、撥水性のある下地、粉気や油の付着している下地などへの施工はお控えください。また古い塗膜面へのタイルや石材など重量物の施工はお控えください。

## 適用タイル(300角以下)

陶器質タイル、せっき質タイル、磁器質タイル、ユニットタイル、モザイクタイル、ガラスモザイク、タイル厚石材など。

## 施工のポイント(事故を起こさないため、必ずお守りください。)

- 下地の不陸や目立たないホコリ、微粉末、レイタンスなどは接着不良の原因になりますので十分に調整、清掃してください。また、下地モルタルやコンクリートの養生不足はせり出し事故の原因となりますので充分硬化・乾燥してください。
- 下地の吸水が激しい場合は、モルタインMD-3000などを5~6倍に希釈した液を塗るか、フィラーボンドを下塗りして、水引きを調整してください。
- 皮張ると接着力が低下します。(夏の直射日光では約2分でウスピーが張ります。)1回の塗り付けはなるべく小面積とし、塗り付け後は追いかけてタイルを張り付けてください。指で粘つき具合を確かめ、粘つきが少ない場合は掻き取って塗り直してください。時々タイルを剥がして裏面への付き具合を確認しておくこと、より安心です。
- 張り付けの際、1cm離れた位置にタイルを軽く押し当て、ずらしながらモミ込むと、ウスピーが破れてしっかりと接着しやすくなります。ユニットタイルは、ずらし張りかできませんので、叩き込みを充分に行ってください。
- 大型タイルやタイル厚石材を張る場合は、改良圧着工法で施工してください。
- 目地材には市販のタイル用目地材をお使いください。ノロ目地(セメントを水だけで練ったもの)は、せり出し事故を起こしやすいので、絶対に使わないでください。
- 出隅、入隅、ジョイント部、異種部材との取り合いなどの箇所には、弾性シーリング材をお使いください。
- 養生期間の短い下地や台所等の熱の加わる所では、なるべく柔らかい目地材をお使いください。
- 合板下地の場合は、必ずフィラーボンドを一旦下塗りし、硬化・乾燥させてから、タイルの張り付けを行ってください。また合板はJASS 26(内装工事)に準じてしっかりと取り付けられていること、水の影響を受けない箇所であることを予めご確認ください。
- タイルを張り重ねる場合は、予め浮きがないことをご確認ください。浴室、浴槽など水の影響を受ける箇所では、カップホイル型のダイヤモンドホイルなどを用いて、タイル表面の石けんや油類を落とし、よく清掃してから施工してください。

## これひとつで、下地調整もタイル接着もおまかせ!

- 塗りやすい
- 使いやすい一材型
- タイルのくらい付きが良い
- 寒冷地でも安心在庫

## 施工方法

### ●下地調整の場合

角ゴテやシゴキゴテなどでフィラーボンドをむらなく塗り付けてください。やや水が引いた頃、更に軟らかく練ったフィラーボンドを塗り重ねると、コテ波が消しやすくなります。

### ●タイル接着の場合

フィラーボンドを3~5mm厚に塗り付けた後、5mmのくし目ゴテをしっかり立ててくし目を引いてください。

#### オープンタイム

夏の屋外日陰...約15分  
約8分でウスピーが張るので皮を破るようにしてモミ込んでください。

夏の直射日光...約10分  
約2分でウスピーが張るので皮を破るようにしてモミ込んでください。



直ちにフィラーボンドのウスピーを破るようにして、ずらしてタイルをモミ込んで張り付けてください。タイル厚石材を張る場合、張り付けは下部より行い、目地幅分のスペーサーをご使用ください。

十分に硬化・乾燥させてから目地詰めを行ってください。

## ノロ目地厳禁



グレー ホワイト  
フィラーボンドG・W

■標準仕様

正味質量		20kg
標準加水量	タイル厚石材	約6.2ℓ
	磁器質タイル	約6.2ℓ
	陶器質タイル	約7.0ℓ
	下地調整	約7.0ℓ
標準所要量	接着用途(5mm<し目)	約7㎡/20kg
	下地調整用途(約1mm厚)	約17㎡/20kg
可使用時間	約2時間	
有効期間	6ヶ月	
色	グレー、ホワイト	

■JIS A 6916 建築用下地調整塗材(C-2)

試験項目	試験結果	規格
軟度変化	7.3	-20~20%
付着強さ	標準養生時	1.0N/mm <sup>2</sup> 以上
	低温養生時	0.7N/mm <sup>2</sup> 以上
耐ひび割れ性	ひび割れなし	ひび割れの発生しないこと
耐衝撃性	割れ及びはがれなし	割れ及びはがれないこと
吸水量	0.46	1.0g以下
仕上材が復層仕上塗材の場合の耐久性	1.1 割れ、ふくれ、はがれなし	1.0N/mm <sup>2</sup> 以上 割れ、ふくれ、はがれないこと

■各種下地への接着性(養生期間:14日)

下地の種類	付着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	破壊箇所
コンクリート	1.7	フィラーボンド層
モルタル	1.6	フィラーボンド層
コンパネ	0.8	コンパネ表層
軟鋼板	1.1	フィラーボンド層
水性塗料	2.8	フィラーボンド層
エポキシ樹脂	1.4	フィラーボンド層
陶器質タイル	1.6	フィラーボンド層
磁器質タイル	1.8	フィラーボンド層
ガラスモザイク	1.7	フィラーボンド層

■各種タイル、タイル厚石材の接着性(養生期間:14日)

タイル及び石材の種類	付着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	破壊箇所
陶器質タイル	2.2	フィラーボンド層
磁器質タイル	2.8	フィラーボンド層
大理石	2.1	フィラーボンド層
御影石	2.2	フィラーボンド層
人造大理石	2.4	フィラーボンド層
ガラスモザイク	2.0	フィラーボンド層

エックス  
フィラーボンドX

■標準仕様

正味質量		20kg
標準加水量	タイル厚石材	約6.4ℓ
	磁器質タイル	約6.4ℓ
	陶器質タイル	約6.7ℓ
	下地調整	約7.1ℓ
標準所要量	接着用途(5mm<し目)	約7㎡/20kg
	下地調整用途(約1mm厚)	約17㎡/20kg
可使用時間	約2時間	
有効期間	6ヶ月	
色	グレー	

■JIS A 6916 建築用下地調整塗材(C-2)

試験項目	試験結果	規格
軟度変化	3	-20~20%
付着強さ	標準養生時	1.6
	低温養生時	0.9
耐ひび割れ性	ひび割れなし	ひび割れの発生しないこと
耐衝撃性	割れ及びはがれなし	割れ及びはがれないこと
吸水量	0.5	1.0g以下
仕上材が復層仕上塗材の場合の耐久性	2.4 割れ、ふくれ、はがれなし	1.0N/mm <sup>2</sup> 以上 割れ、ふくれ、はがれないこと

■各種下地への接着性(養生期間:14日)

下地の種類	付着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	破壊箇所
コンクリート	1.8	フィラーボンド層
モルタル	1.6	フィラーボンド層
コンパネ	0.8	コンパネ表層
軟鋼板	1.2	フィラーボンド層
水性塗料	3.0	フィラーボンド層
エポキシ樹脂	1.3	フィラーボンド層
陶器質タイル	1.6	フィラーボンド層
磁器質タイル	1.7	フィラーボンド層
ガラスモザイク	1.7	フィラーボンド層

■各種タイル、タイル厚石材の接着性(養生期間:14日)

タイル及び石材の種類	付着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	破壊箇所
陶器質タイル	2.6	フィラーボンド層
磁器質タイル	2.4	フィラーボンド層
大理石	2.7	フィラーボンド層
御影石	2.7	フィラーボンド層
人造大理石	2.6	フィラーボンド層
ガラスモザイク	2.0	フィラーボンド層

※試験成績は社内試験結果であり、保証値ではありません。施工条件によって数値は変動することがあります。

⚠ フィラーボンドG・W・Xの取り扱い上の注意

- 水と接触するとアルカリ性を呈しますので、取り扱いにはご注意ください。誤って飲み込んだ場合は、直ちに口、鼻をよく洗浄し、異常を感じる場合は医療機関で手当を受けてください。目に入った場合は、直ちに清浄な水で15分以上洗眼し、異常を感じる場合は医療機関で手当を受けてください。皮膚に付着した場合は、水や石鹼でよく洗い流してください。
- 残材、洗い水などは河川、池、湖、下水、地下水などを汚染する場所には捨てないでください。
- 袋などの処理は、産業廃棄物処理業者に依頼してください。
- 保管は高温多湿にならない屋内で行い、パレットを敷くなどして、床面より浮かしてください。
- 施工に際しては、カタログ記載の注意事項をお読みください。